

# 保育士確保対策について

平成26年2月27日  
奈良県健康福祉部こども・女性局  
子育て支援課

# 奈良県保育士実態調査の概要

## 1 調査内容

### (1) 保育士登録者用調査

○調査対象：県内在住の保育士登録者約16千人から6千人を抽出

○調査方法：アンケート調査（郵送）

○回答数（率）：有効回答数2,981人（有効回答率49.7%）

○調査内容：潜在保育士：属性、退職理由、再就職に関する事、再就職の際に求めるサポート等

現任保育士：属性、現就労状況に関する事、仕事を続けていくため必要なサポート等

### (2) 保育施設用調査

○調査対象：県内全保育施設（内訳）認可保育所（私立99か所、公立98か所）、認可外保育施設（事業所内保育施設、へき地保育所含む）の計285か所

○調査方法：アンケート調査（郵送）

○回答数（率）：有効回答数232か所（有効回答率81.4%）

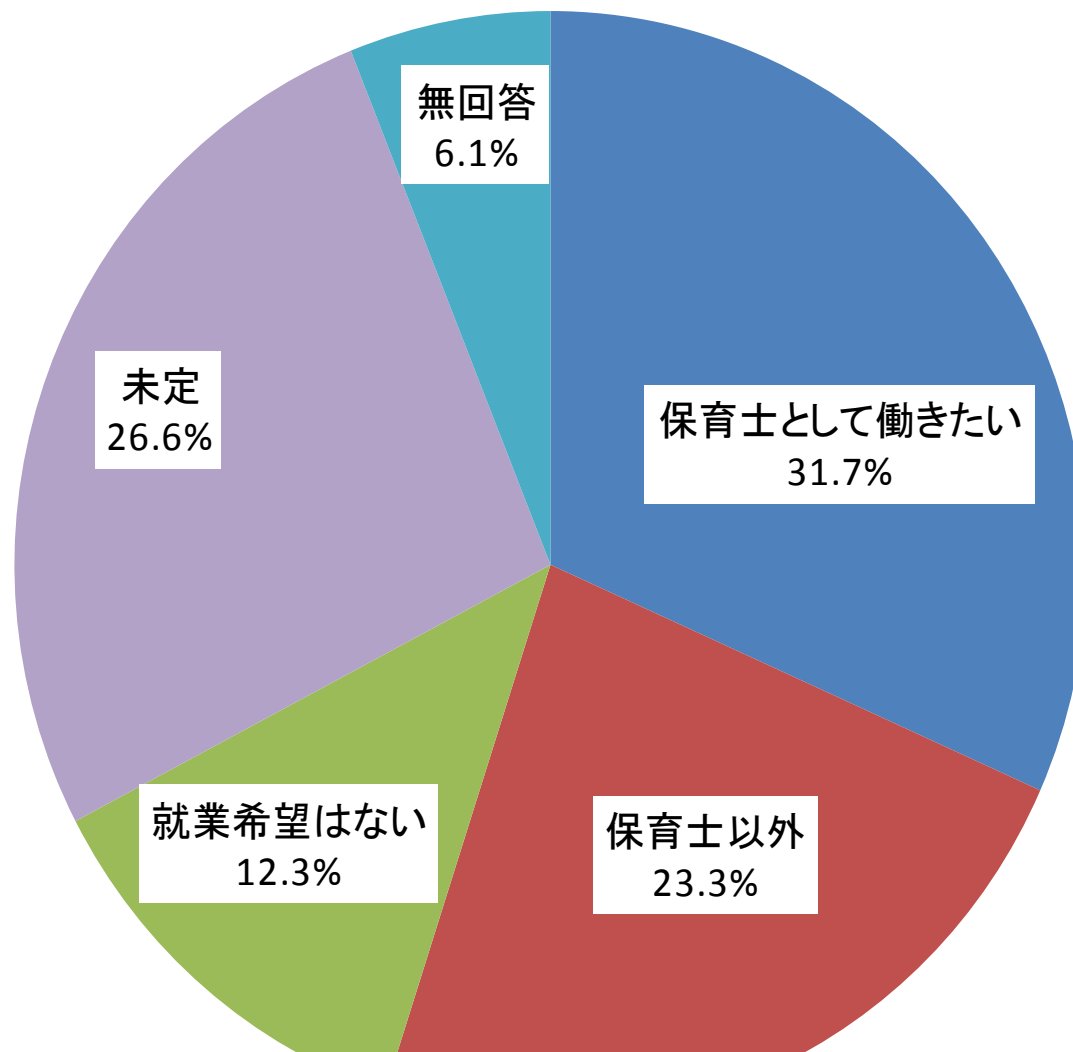
○調査内容：就労者の属性、就労形態、賃金に関する事、潜在保育士の雇用、希望する雇用形態、離職防止のための方策等

## 2 調査期間

平成25年9月6日（金）～ 9月20日（金）

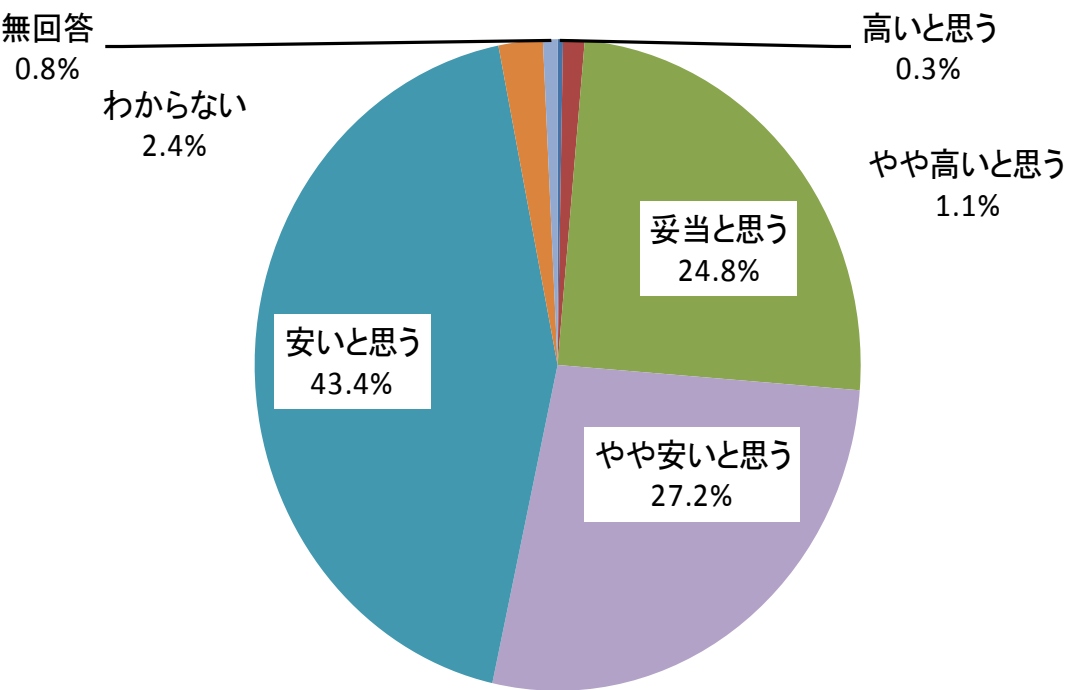
## 保育士登録者用調査

○潜在保育士の3分の1が今後保育士として勤務することを希望

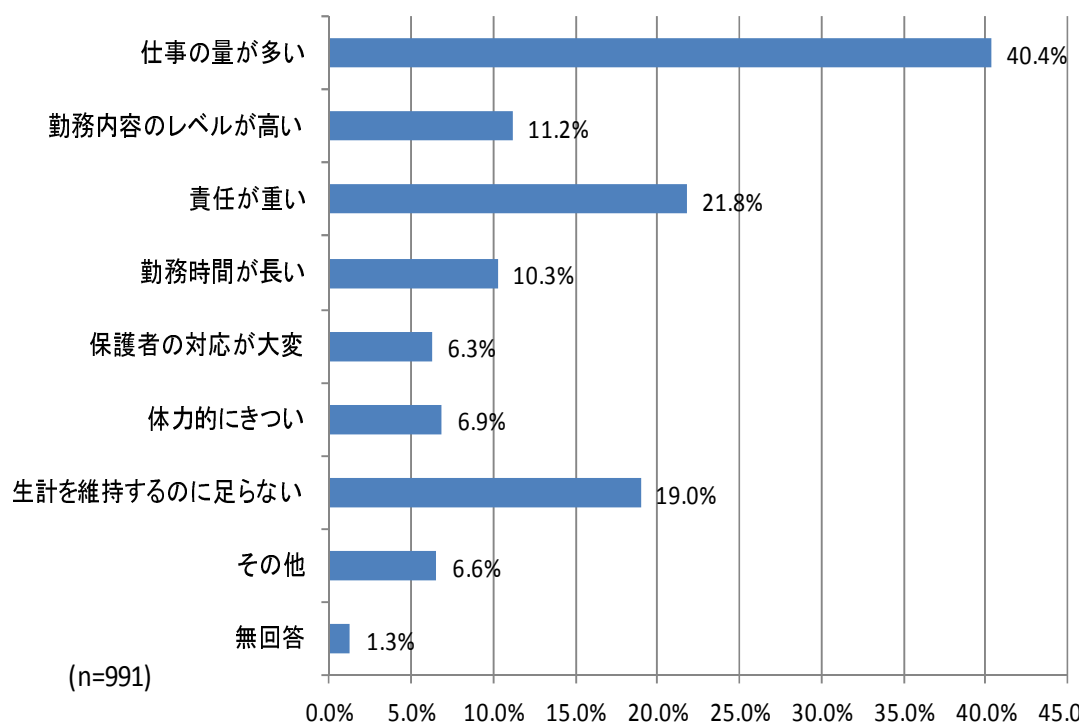


## 保育士登録者用調査

○保育士の7割が勤務内容と比べ給与が「安い」または「やや安い」と感じている

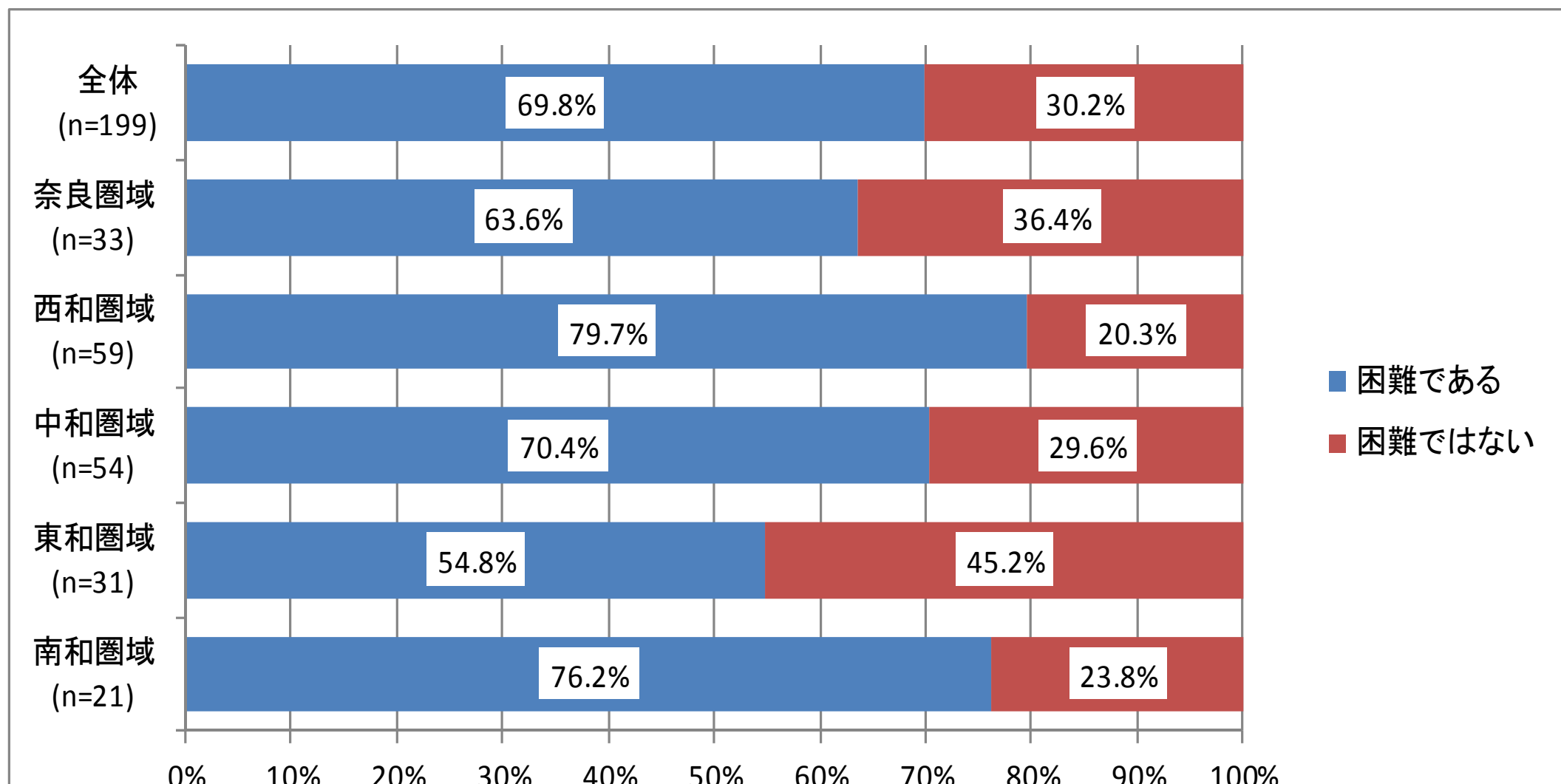


○勤務内容と比べ給与が安いと思う主な理由(複数回答)



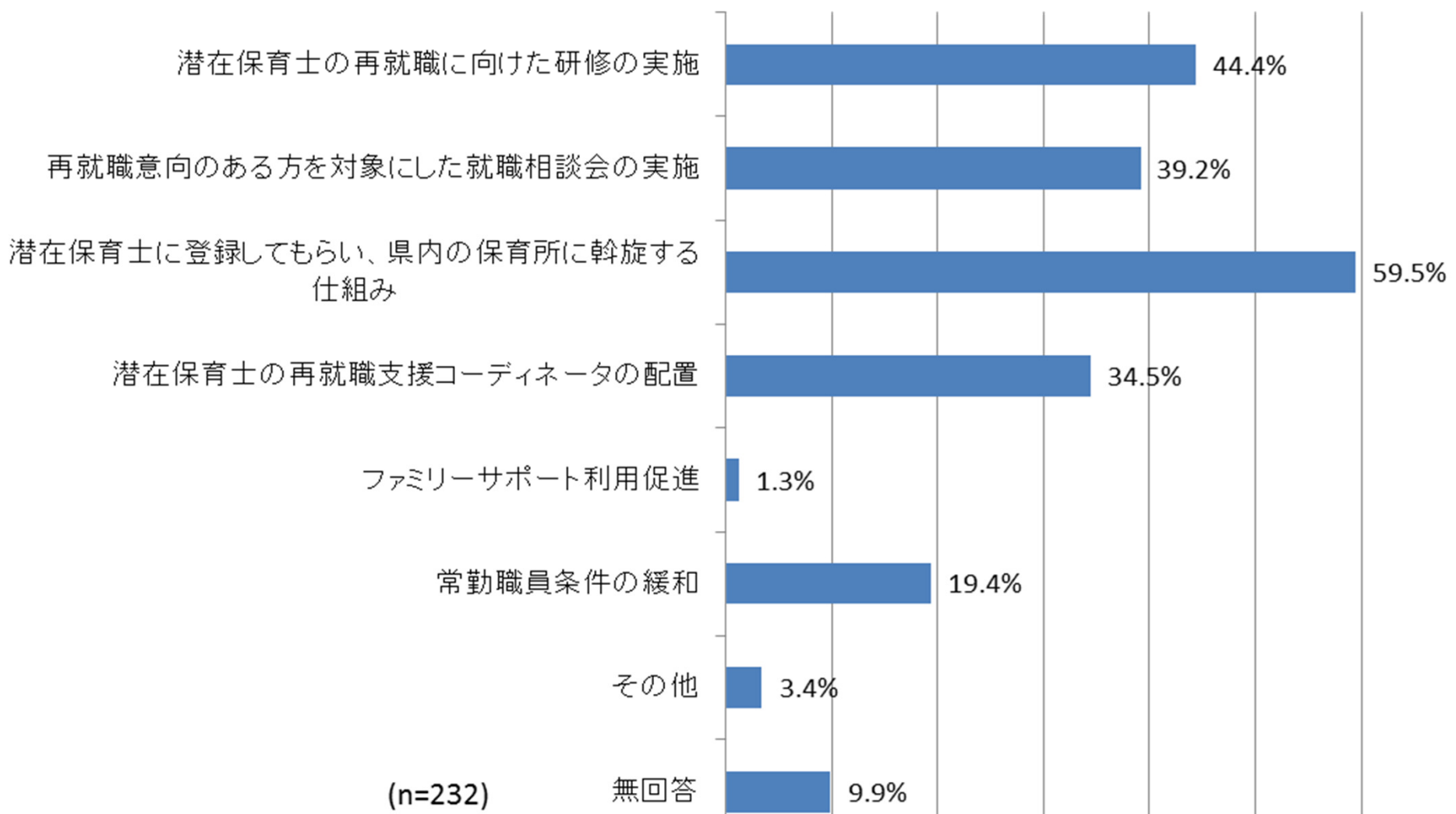
## 保育施設用調査

○県内の7割の保育施設が保育士の確保が「困難である」と回答



## 保育施設用調査

○保育士の雇用に関して求める支援は「潜在保育士の登録・斡旋の仕組み」が最多



○日 時：平成25年12月25日(水)～平成26年1月28日(火)のうちのべ4日間

○対 象：県内認可保育所、認定こども園、認可外保育施設 全9施設

(主な意見)

- ・人材バンクはハローワークのような機能だけでなく、登録者が園に見学にいけるような機能もあれば良いのでは。
- ・Ipadをテスト的に導入し、保育日誌の作成等において支援ソフトの活用などを行っている。
- ・以前に比べ、事務的な負担が多くなっている。(多数)
- ・法人全体としてキャリアアップに取り組んでおり、人事考課にも反映。昇給や賞与にどのように反映させていくかが今後の課題。

### 保育士実態調査有識者検討会の概要

(第1回) ○日 時：平成25年12月27日(金)10:00～12:00

○場 所：奈良県経済倶楽部4階会議室

(第2回) ○日 時：平成26年2月7日(金)13:30～15:30

○場 所：奈良県商工会議所特別会議室

(両回共通) ○出席者：学識経験者、奈良労働局、県内保育士養成校、市、県内保育関係者等

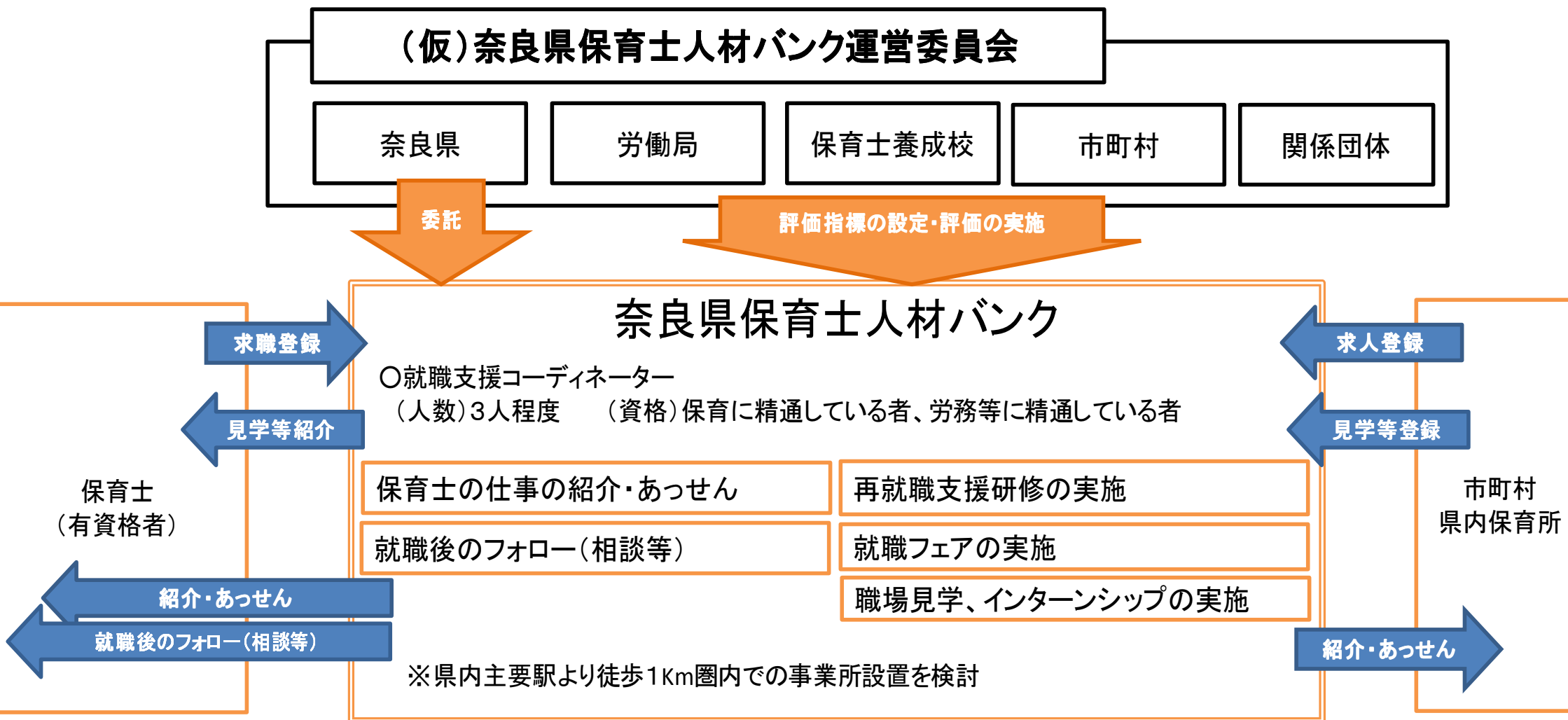
(主な意見)

- ・何を評価のポイントとするかが大事。この施策、取組を定期的評価していくシステムまで作っていければ。
- ・マッチングも非常に重要であるが、就職後のフォローも重要である。
- ・あらかじめ保育所の雰囲気を知ってもらうための実習体験(インターンシップ等)の場の提供が効果的。
- ・メールマガジン等による情報発信があると携帯でも見れて便利である。
- ・ハローワーク、人材バンク双方の特性を活かしつつ、早期の就職支援を図ることが重要。

# 奈良県保育士人材バンクについて(案)

- 県及びハローワーク等の関係機関からなる運営委員会を設置のうえ、評価指標を設定し、定期的に取り組みの点検を実施
- きめ細かいニーズ把握、就職後のフォロー、相談事業の実施のため複数のコーディネーターを配置(保育に精通している者を含む)
- 就職の紹介・あっせん機能、再就職支援研修、就職フェアの実施に加え、職場見学やインターンシップの場の提供なども実施
- ハローワーク、人材バンク双方の特性を活かしつつ、相互の連携を深める

## <イメージ図>





### <議論・検討すべき分野・内容>

(例)

- 研修内容や体系について
- 保育士の負担軽減策について
- キャリアパスの整備について
- ワーク・ライフ・バランスの推進について



### <役割を担うべき実施主体>

(例)

- |      |      |
|------|------|
| ○(国) | ○団体  |
| ○県   | ○施設  |
| ○市町村 | ○保育士 |

(仮)保育士の魅力向上についての懇話会で検討  
(H25末～H26前半)

○保育士の資質向上、キャリアパスの整備、ワーク・ライフ・バランスの推進に必要な各分野において、**実施主体ごとの役割や方策を明記し、県の計画等に規定**


「保育士の魅力を高める取組」としてモデル的に発信

例) 保育士セミナーの開催等

# 保育士の資格取得の支援について

子育て中の女性の保育士資格取得の支援	<p>新制度に向けた保育士確保対策として、結婚や出産を機に退職した女性及び子育て経験のある女性の再チャレンジを後押しするため、県内にモデル地域を選定し、保育士試験合格に向けた研修及び実習を行う。</p> <p>＜（新）子育て女性の保育士資格取得チャレンジ支援事業＞</p>
潜在幼稚園教諭の保育士資格取得の支援	<p>「特例制度（※）」により、潜在幼稚園教諭が保育士資格を取得する場合などの経費の一部を助成する。</p> <p>＜（新）幼稚園教諭免許状を有する者等の保育士資格取得支援事業＞</p>
保育教諭確保のための資格・免許取得の支援	<p>「特例制度（※）」により、幼保連携型認定こども園などに従事する者が、幼稚園教諭免許状または保育士資格を取得するための経費の一部を助成する。</p> <p>＜（新）保育教諭確保のための保育士資格取得等支援事業＞</p>

「特例制度」・・・一定の実務経験を有する保育士・幼稚園教諭について、もう一方の資格・免許を取得するための必要な単位数を軽減する制度



保育資格取得後、人材バンクへの登録を促し、就職を支援